

様式 4

<p>令和 5 年度第 2 回</p> <p>富士見市図書館協議会</p> <p>議事録</p>						
日 時	令和 5 年 6 月 3 0 日 (金)		開会	午前 1 0 時 0 0 分		
			閉会	午前 1 1 時 2 0 分		
場 所	中央図書館 レセプションルーム					
出席者	委 員	出井委員長	檜山副委員長	小林委員	金高委員	今井委員
		○	×	○	○	○
		神馬委員	本木委員	野澤委員	金子委員	渡邊委員
		○	○	○	○	○
	事務局	<p>○富士見市教育委員会 山口教育長</p> <p>○教育委員会生涯学習課 土田課長 森田主査 加藤主任</p> <p>○図書館 長谷川中央館館長 田畑副館長 大里鶴瀬西分館長 下川ふじみ野分館長</p>				
公 開 ・ 非 公 開	公開 (傍聴者なし)					
次 第	<p>1. 開会</p> <p>2. 任命書交付式</p> <p>3. 図書館協議会・指定管理者制度について</p> <p>4. 委員長・副委員長選出</p> <p>5. 各館事業報告 (令和 5 年度 5 月) 中央・鶴瀬西・ふじみ野</p> <p>6. 令和 4 年度事業報告、令和 5 年度活動計画について</p> <p>7. その他 (次回開催日程)</p> <p>8. 閉会</p>					
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・富士見市図書館協議会 令和 5 年度 6 月定例会次第 ・2023 年 5 月活動報告 (中央図書館・鶴瀬西分館・ふじみ野分館) ・さざなみだより (2023.6 月号～2023.7 月号) ・とびらしんばん (2023.6 月号) ・BOOK ADVENTURES 2023 SUMMER ・つるせにしんばん (2023.6 月号) ・ぶんちゃんしんばん (2023.6 月号～2023..7 月号) ・ほんのくにたんけん 1・2 年生・3・4 年生・5・6 年 					

議 事 内 容

図書館	1. 開会 開会あいさつ
教育委員会	2. 任命書交付式 山口教育長より各委員に任命書交付 山口教育長より挨拶
生涯学習課	3. 図書館協議会・指定管理者制度について 生涯学習課 加藤主任より説明 図書館協議会は、富士見市図書館条例に基づき、設置されている。役割は、館長の諮問に応じる事や、図書館の運営や図書館サービスについて館長に意見を述べる事である。また市民の意見や地域の実態などが行政に反映するように活動し、市民と教育行政をつなぐための役割を担う機関である。 指定管理者制度は、公の施設の管理について、民間企業、NPO 法人などを含む市が指定するものに管理を行わせることができるようになったものである。富士見市の図書館は、指定管理者による運営が行われている。
図書館	4. 委員長・副委員長選出 委員長 出井委員 副委員長 檜山委員 出席委員の自己紹介
図書館	5. 各館事業報告（令和5年度5月） 【中央図書館】 ・資料に基づき報告 おはなし会は5回、映画会は大人、子ども各2回実施した。団体貸出の利用状況、障がい者サービスの利用状況及び対面朗読の数は別紙のとおりである。ブックスタート、ロビーコンサートも好評であった。自主事業「幻の水谷駅 富士見市の鉄道と敷設計画」を行った。計画だけで終わってしまった水谷駅がもし開設していたら、この辺りはどのようになっていたのかなど、とても興味深いお

話しで、高校生から 80 代まで、幅広い年代の方にお越しいただいた。これに合わせて、一般展示も「電車に乗ろう！」と題し、展開した。

【鶴瀬西分館】

・資料に基づき報告

図書館

おはなし会、映画会実施。団体貸出は報告書に記載されている。

自主事業は、子ども読書週間・春の児童配布企画『はばたけ！本の虫バグネット』。読書週間に合わせて、児童の来館機会を増やし、継続的な図書館利用につなげるものを実施。

子どもの日児童企画『こいのぼりをかざろう！』では、折り紙を折ってもらい飾った。コロナ禍だったので、バインダーをお渡しし、館内の机で折っていただき、大きいこいのぼりの中に小さいこいのぼりを作った。

大人のための『折り紙教室』。ユニット折り紙では、立体のものを一部分作っておき、仕上げる体験をして頂いた。折り紙の色でわかるような工夫や、帰ってからも折って頂けるような工夫をした。参加者全員が作品を完成させることができた。次回への期待もいただいた。

『24日は西の日』として、しおりを配布、西分館の宣伝も兼ねている。

『芝生の上のおはなし会・工作会』は、初めての企画であり、つるせ台小学校の芝生を利用し行った。絵本や紙芝居のプログラムを組み、簡単な工作を行い、遊ぶというものである。校庭のスケジュールもタイトだったので、退場の方法も工夫し行った。対象は、どなたでも、ということで大人の参加もあった。地域の方のご協力もいただき、改めて地域の図書館としてこれからも活動を続けていきたいと感じた事業であった。他グループとのグラウンドの使用の関係で、退場がスムーズになるよう花道退場としたところ、小さいお子さんが通りたいが怖い、とのことで大人と一緒に花道退場をする嬉しそうな姿が微笑ましかった。

鶴瀬西分館の特徴である、学校連携の報告書を付けている。学校には、鶴瀬西分館の掲示を昇降口や、職員室前にさせていただき、ひまわり学級へのよみ聞かせや、ブックトークも行っている。コロナ禍では学校へ図書館職員が伺ったが、今年度からは、本来の目的の1つでもあった「卒業してからも図書館を使えるように」という練習も含めて、外の入口から来館し、おはなしを聞き、書架で本を探すという方法をとっている。

『先生の本棚』は、学校の印刷室をお借りして本の貸出を行っている。授業に活用できるもの、働く人の本なども並べている。

館内には、『つるせ台小コーナー』とあって、児童、学校教育、家庭教育や教科書などが置いてあるコーナーがある。

図書館

鶴瀬小学校は、セカンドブック事業の図書館利用カードの申し込みがあり、ふわっぴーの図書館利用カードをお届けしている。

富士見台中学校の生徒さんが、図書館 (YA) サポーターとして、今は8月の講座に向けて、講座のポスターの作成などお手伝いに来館してくれている。

関沢小学校に一番近い図書館は、鶴瀬西分館になるので、「つるせにししんぶん」などを毎月配布させていただいている。

【ふじみ野分館】

- ・資料に基づいて報告

おはなし会は、ふじみ野交流センタープレイルーム、ふじみ野児童館、慶櫻ふじみ保育園などで行っている。

慶櫻ふじみ保育園は、通常4～5歳児は来館して頂きお話会をしているが、5月は胃腸炎の流行の為来館は中止、0～3歳の園で行うお話会の時に一緒に行った。

以前幼児・小学生向けのおはなし会も行っていたが、なかなか参加が無いこと、また子どもの興味もそれぞれなので、本を絡めたいろいろな内容を「ぶんちゃんひろば」として行っている。5月は、読書というテーマでアニメーションを行った。アニメーションとはスペイン発祥の読書法でゲームなどを通して読書を深めていく手法である。1人1冊本を持ち、アニメーターが読み聞かせし、その後本を伏せて、内容について発表してもらい、答えがでるまで時間がかかる子もいるが、じっと待つということ、そして発表も大事にしている講座である。継続的にすることにより読書の力を深めていく。ぶんちゃんひろばでは年4回程度、ふじみ野児童館でも年2回行っている。

団体貸出は、数は多くないが、プレイルームに1ヵ月テーマを決めて本の貸出を行っている。

自主事業は3つ行った。

「はらっぱおはなし会」は勝瀬原記念公園で行い、図書館に来る方以外へのPRにもなった。また、絵本とエアロブックスを組み合わせた「エアロブックス®」を初めて公園で行った。親子で絵本と体操を楽しむ会である。図書館でも好評の講座だが、さらなる宣伝を行いたく公園で行い19家族52名の参加があった。次の開催の案内を書いたカードにマグネットを付けて、すぐに捨てられないように工夫し、次回9月の開催のアピールをした。

大人向け講座としては、ふじみ野交流センターの調理室を使って『葉膳講座』を実施した。講義と実際に調理をする講座で施設の特徴を活かした講座となっている。定員数を超える申し込みがあった。ま

<p>委員長</p> <p>委員</p> <p>図書館</p>	<p>た男性の申し込みもあり、料理と健康は利用者の関心事としては高いと思った。施設の特徴を活かした講座なので、続けていきたい。</p> <p>外部連携としては、勝瀬小学校の特別支援学級の来館があった。保育園については、近隣のふじみ野保育園と慶櫻ふじみ保育園へ「ぶんちゃんしんぶん」を各家庭に配布しており、親御さんにもみていただきたいと思う。</p> <p>ふじみ野交流センターとの連携としては、ふじみ野交流センター主催の『ふじみ野じゅく』のテーマに合わせて毎月展示を行っている。ふじみ野分館の蔵書数は、4万弱だが、ミニ展示を増やしていろいろな角度から蔵書をみなさんに見てもらおうように心がけている。スタッフおすすめのコーナーもあり、スタッフが順番におすすめの本を紹介する文を書き、5日と20日に更新している。来館の際はご覧いただきたい。</p> <p>館内企画は、子どもたちに季節にあった折り紙を折ってもらい、廊下の壁面コーナーに飾ってもらっている。5月6月は母の日、父の日が続くので家族への感謝と言うことでハートを折ってもらった。そしてカウンターには夏みかんと一緒に、教科書に掲載されている関連図書「白い帽子」の本の掲示もおこなった。自分が小さい時に読んだ本について利用者とのコミュニケーションをとれるきっかけとなった。</p> <p>また、「静電気おもちゃ 踊るスチロール球」もおいており、何故球がおどるのか大人の方も興味を示してくださった。</p> <p>今回は、いつもより短い1ヶ月分の報告だったので、3館まとめて行った。</p> <p>【質疑応答】</p> <p>特になし</p> <p>6. 令和4年度事業報告、令和5年度活動計画について</p> <p>中央図書館とふじみ野分館は、令和2年度から指定管理を開始。鶴瀬西分館は15年のPFI事業の契約が終了し、昨年から2年間の指定管理となった。鶴瀬西分館一帯が西の開発地域となっており、上沢小学校と鶴瀬西小学校が統合され、つるせ台小学校と鶴瀬西分館、放課後児童クラブが一緒になっている。</p> <p>中央図書館とふじみ野分館は令和2年度から受託。コロナがはやり始めた頃で、座席数の縮小や滞在時間の制限、また手指消毒などを</p>
---------------------------------	---

	<p>行ってきた。ようやく、この5月8日からコロナの制限がなくなった。</p> <p>コロナ禍ではあったが、つるせ台小学校、鶴瀬小学校に続き、市内全校で新1年生のカード登録を行うことができた。またセカンドブックの本のプレゼントも行った。ここ3年間は、全員に同じ本を贈っていたが、今年から4冊の中から2冊選ぶように変えた。結果はどの学校も平均的に同じくらいの数になった。教育長から、選書が良かったとのお褒めの言葉を頂けた。</p> <p>令和3年からは電子図書館の導入が始まった。非来館、非接触型の新しい貸出形態である。今年は、期限切れになるコンテンツが多くあるため、現在追加購入するコンテンツを選書中である。</p> <p>図書館見学は、コロナ禍では、クラスをいくつかに分けて行った。</p> <p>昨年度から託児サービスを開始。毎週金曜日の10時から、1時間3コマ、最大5名のお子さんを和室で預かっている。保育士が対応している。利用も安定してきている。</p> <p>鶴瀬西分館では、『芝生の上のおはなし会』を行った。つるせ台小学校は、芝生のモデル校であり、今回実施した。市長、教育長もいらしてくださった。</p> <p>昨年3年ぶりに開催した【図書館まつり2022】は、「タイムカプセル開封・封入式」「とよたかずひこさん講演会」「ピアノとチェロのリサイタル」、リサイクル本の提供などを行い、非常に好評であった。</p> <p>第4次子ども読書計画では、令和5年から5年間の計画になっており、「みんなで育てる 本で育てる」というキャッチフレーズを定めている。子どもたちに関わる全ての大人が、本を使って子どもを育てようという意味がある。</p> <p>中央館では6月より、国立国会図書館デジタル資料送信サービスを開始している。ぜひ多くの方に利用していただきたい。</p> <p>また、7月から、ふわっぴーの絵柄入りの図書館利用カードを、一般のカードと選択制で作成していただけるようになる。</p> <p>【質疑応答】</p> <p>ふじみ野分館での公園でおはなし会、鶴瀬西分館での芝生の上でおはなし会では、参加者も多かったようだが、利用者の生の声など聴くことが出来たか。</p> <p>ふじみ野は、5月5日に毎年公園でのおはなし会を行っている。昨年度はコロナの制限もあったのでそれを目当てにいらっしゃる方もいたが、今年にはコロナの制限がとれて、公園には昨年ほど多くはいら</p>
委員長	
図書館	

<p>委員長</p>	<p>っしやらなかったが、公園にいらしていた方に声をかけた。21日の「エアロボックス」では、リピーターの参加もあり、1時間という長い時間ではあったが最後までいてくれたので、楽しんでくださっていたのだと思う。また最後にご案内を渡すと「行きますね」というお声もあった。</p> <p>鶴瀬西分館では、20日から27日に芝生の上のおはなし会が延期となり、延期のお知らせをHPやFacebookで行った。利用者に届くか不安だったが、本日は延期ですねと確認のお電話をいただいたりしたこと、また27日に多くの方のご参加があったので、HPやFacebookなどの発信が届いている事がわかった。読み聞かせの後、工作を行いその後遊んだが、一緒に遊ぶことでどのように飛ばしたらより飛ばかなど子どもたちとの会話にもつながった。市長や教育長とも一緒に遊んでいただけた貴重な時間帯があった。子どもが今度市長室に行きますと市長に声をかけている姿もあった。ふじみ野分館同様、花道退場後に図書館の宣伝も行った。</p> <p>配布資料の『富士見市教育振興基本計画』、『子ども読書活動推進計画』、『富士見の公民館』、冊子3冊の説明はあるか。</p>
<p>生涯学習課</p>	<p>『第三次富士見市教育振興基本計画』は、令和5年度からの計画で冊子が発行された。富士見市教育委員会として、どのような教育行政を進めていくかというものであり、図書館に関する取り組みも入っている。</p> <p>『第四次富士見市子ども読書活動推進計画』は、こちらも令和5年4月からの計画であり、今回配布冊子の中では、図書館協議会に一番かわりのあるものである。富士見市の中でどのように子どもの読書活動を推進していくかという内容になっている。図書館、学校、各関連機関と連携しながら子どもの読書活動を推進していきたい。</p> <p>『富士見の公民館』は、令和4年度に富士見市公民館4館、各館で行った事業の報告書をまとめた冊子である。</p>
<p>委員</p> <p>生涯学習課</p>	<p>西交流センターやふじみ野交流センターは載っていないのか。</p> <p>『富士見の公民館』は、公民館の報告書になる。公民館は教育委員会の管轄だが、交流センターは市長部局の協働推進部の担当となっている。</p>
<p>委員長</p>	<p>何かあれば、次回にご意見を頂きたい。</p>
<p>図書館</p>	<p>7. その他 次回開催日について 次回は9月22日（金）午前10時から中央図書館レセプションルームにて開催。</p>

生涯学習課	富士見市の人権教育推進協議会から委員の推薦依頼があり、図書館協議会の中から1名お願いしたいとのことである。どなたかいらっしゃるか。
委員長	委員長が継続する。 8. 閉会